

令和5年6月6日

令和5年度定時総会 奥村会長開会挨拶

令和5年度 定時総会の開催にあたり、一言挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、本日はご多用のところ、定時総会にご出席いただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

まず、先週末全国各地で発生した豪雨による河川の氾濫等により被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、「地域の守り手」として災害対応にあたっている各都道府県建設業協会の会員企業の皆様に心より敬意を表します。

令和4年度の私ども建設業界をとりまく状況を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が終息に向けて動き始め、今となっては、ウィズコロナではありますが感染拡大前の社会経済活動を取り戻したように思われます。

また、気候変動の影響で頻発化、激甚化する台風や豪雨、豪雪などの自然災害、鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病が全国各地で発生しましたが、地域建設業はこれらに迅速・的確に対応し、人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としての役割を果たしたことで、その信頼を確かなものにする事ができました。

一方で、ロシアのウクライナ侵攻は、世界的なエネルギー、原材料価格の高騰や供給懸念を引き起こし、建設業においてもその煽りを受けることとなりました。

そうした中、令和4年度 補正予算、令和5年度 当初予算において、災害復旧、防災・減災や国土強靱化の推進、社会インフラの老朽化対策などを中心に、必要な公共事業関係費が確保されたほか、「公共工事設計労務単価」の全国平均が前年度比プラス5.2%と大幅に引き上げられるとともに、資材価格高騰に伴うスライド条項の活用推進などが実現したところでございます。

全建といたしましては、47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となって、引き続き「地域の守り手」としてインフラの整備や災害対応にあたりるとともに、公共事業の円滑な執行に貢献するべく、下請企業を含めた建設業全体の賃上げ、建設キャリアアップシステム等による処遇の改善、i-ConstructionやDX（デジタルトランスフォーメーション）を通じた生産性の向上、とりわけ来年4月に全面適用される時間外労働の罰則付き上限規制に対応するための働き方改革の取組など、今年度も、このような様々な課題に対して、積極的な事業活動を展開して参りますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本日ご臨席の皆様方のご健勝と、各都道府県協会並びに会員企業の皆様の益々のご隆盛、ご発展を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。